

# 林業安全コラム

職場発！ 心と体の健康チェック  
はじまる 広がる 健康職場

## ○ 林業労働災害発生状況について

	H24年	H25年	H26年	H27年	26年比較	摘 要
死傷者数(人)	1,897	1,723	1,611	1,102	-10	27年9月末現在
死亡者数(人)	37	39	42	23	-8	27年9月末現在

今年のエ業労働災害の発生状況（速報）は、前年同時期に比べ、死亡者数、死傷者数ともに減少していますが、これからの事業は降雪前の繁忙期を迎えることから、労働災害の増加が懸念されます。引き続き、積極的に安全衛生活動を実施していただき、労働災害防止に努めていただくようお願いいたします。

## ○ 林業労働災害の発生事例について

**（類似災害防止のために！平成25年同時期に起きた死亡災害から）**

### 【事例1 11月某日】

被災者は同僚6人とともに、傾斜40°の斜面で天然林（広葉樹の小径木）の皆伐作業に従事。被災者は、作業のため移動中足を滑らせて転倒後に転落して、作業道に一旦叩きつけられ、さらに転落して岩場に頭部を激突したものと推定される。

### 【事例2 11月某日】

被災者は、同僚と4で人家付近にあった支障木をトラッククレーンで吊って伐倒する作業に従事。支障木のスギ（胸高直径：約60cm、樹高：約30m）を吊り切りにより伐倒するために、クライミングサドルを使用して当該木に登り、地上約22mの箇所ワイヤロープを取付けた後、下りている途中、何らかの原因で地上約18mの箇所から墜落した。

### 【事例3 11月某日】

被災者（荷掛け手）は、同僚6人と架線集材作業に従事。13時頃、午後から2回目の集材を終え3回目の集材に向けキャレヅを移動させていたが、停止位置を過ぎて合図がないことから不審に思った集材機運転手が無線機で被災者に声を掛けたところ、被災者から滑落したと返答があった。集材機運転手は、直ちに同僚を被災者のもとに向かわせるところ、窪地に座っている被災者のもとに到着、被災者は意識はあるものの右胸の痛みを訴え動けない状態であった。その後、病院に搬送したが17時頃、医師により死亡が確認された。

### 【事例4 11月某日】

被災者は、林道において伐採した木をトラックに積み込む作業に従事。積み込んだスギ材を、トビロを使用して移動させていた際に、トビロがスギ材から抜けた反動で、バランスを崩してトラック荷台から後ろ向きに地面に墜落し、頭部を強打した。



注：事例は林災防ホームページから  
絵は災害と関係ありません

- 平成28年度林材業労働安全・労働衛生標語を募集中！  
応募締切：平成27年11月10日（火）  
（郵送：〒108-0014 東京都港区芝5-35-1林材業労働災害防止協会  
総務課、FAX：03-3452-4984）
- 今月は「職業能力開発促進月間」です。

林業労働対策室  
労働安全衛生班